

社会福祉法人夢の森福社会広報誌【第8号】

目次

- 理事長挨拶 P2
- 夢の森福社会事業紹介 P3~P6
- 平成29年度 事業実績/決算報告 P7
- 講師紹介/おしらせ P8



● 発行/社会福祉法人夢の森福社会「ゆめ」編集委員会
 栃木県日光市大沢町274
 TEL.0288-32-2280 FAX.0288-32-2281
 メールアドレス yumenomori1@ap.wakwak.com
 詳しくはホームページをご覧ください

- 今号の題字/川島 弥人様 (夢っ子)
- 印刷/(有)三興社

夢の森 検索

笑顔で～♪はい、チーズ!



就任挨拶



社会福祉法人夢の森福社会
 事業所 施設長(事務長兼務)
 山口 美知子

この度、本年六月一日付で、施設長に就任いたしました。事務長も兼務し、誠に重責ではありますが、精一杯努力する決意です。皆様のご理解とご支援のほどをよろしく願いたします。

就任後、私が当法人の取り組むべき課題と考えているのは次のとおりです。

- 一、職員資質の向上
 - 一、人材確保
 - 二、職員研修の充実
 - 三、個別支援計画の評価活動
 - 四、人事考課システムの有効活用
- 二、法人経営の健全化
 - 一、経営方針の確立
 - 二、利用者確保・工賃アップ
 - 三、利用者・ご家族との信頼関係
 - 四、開かれた法人経営
- 三、公益的な取り組みの強化
 - 一、地域活動関連組織との連携
 - 二、地域資源の掘り起こし
 - 三、近隣関係団体との連携
 - 四、広報活動の強化

創世期の「夢の森」



社会福祉法人夢の森福祉会
理事長
小林 幸正

はじめに

理事長就任以来、慣れない環境への戸惑いと直面する諸課題への対応に追われる日々が続くうちに、一年余りが経過しようとしています。

そんなある日、「夢の森」の資料を整理していると、平成十四年三月発行の『会報、在宅重度心身障害者デイケアホーム夢の森（最終号）』を見つけました。

（最終号）ですから、現在の「社会福祉法人夢の森福祉会」の前身であるデイケアホーム「夢の森」七年間の取り組みを総括する会報です。

ここではその後の会報と併せ、その一部を要約して紹介し、改めて「夢の森」創世期における先人たちの奮闘ぶりやご苦労に触れてみたいと思います。

デイケアホーム誕生

紙面のトップには、利用者、家族、職員たち全員が揃って晴れやかな表情の記念写真（開設記念日旅行としてデイズニーシーで撮影）、その下段に「夢の森」創始者である千代田進前理事長の手記「道をつくる」が、「経過と感謝の報告」という副題とともに掲載されています。

平成六年、千代田先生は施設開設に向けた諸活動を本格化させ、多くの難関に直面しながら、平成八年六月二十五日に念願のデイケアホーム「夢の森」は開所式を迎えます。当日はおおぜいの方々を祝福に訪れ、二十八日からは利用者の通所が開始されたとありますから、準備に追われる職員は連日慌ただしかったです。七月一日から一週間オリエンテーションが

実施され、利用者は新しい環境に慣れるための練習を、職員は利用者の食事や排せつ等のスキルの確認に取り組んだといえます。別資料には、この時期の職員のモットーは「へゆつくりとしつかりと」と記されており、始業の喜びや緊張感だけではなく、じっくり取り組んでいこうとする強い思いが伝わります。

法人資格取得に向けて

「夢の森」スタートから三年がたった頃、先生はデイケアからデイサービス、通所による授産施設の創設などで事業内容をさらに向上させようとしています。そしてその第一歩として、社会福祉法人資格の取得が必要と考え、実現に向けた機運を高めようと人々に働きかけました。その結果、支援者の期待感と熱気の高まりは、個人や団体を問わず後援会やチャリティイベントなどの諸活動が活発に展開され、平成十三年の発起人会スタート前には、多額の設立準備基金を生み出してしまふほどだったといえます。

さらに会報には、多大な助成をされた旧今市市はもとより、旧日光市、旧藤原町からの支援、また新事業移行のため合意協力をされた近隣作業所への謝意も記され、まさに官民一体、地域ぐるみによる壮大なプロジェクトであったことがわかります。

こうして平成十四年六月、念願の「社会福祉法人夢の森福祉会」が誕生し、その盛り上がりぶりは「夢の森フェア」（現「夢フェスタ」）に、法務大臣が来臨されたことから感じ取れます。

さらに手記は、支援費制度導入や障害児放課後学童保育事業についても記されています。

課題を踏まえて

平成十五年六月、「社会福祉法人夢の森福祉会」は本格的な歩みを開始し、翌年六月には『会報「ゆめ」（創刊号）』が出されます。そこで先生は、「夢の森福祉会」が支援費制度導入との同時スタートであり、介護保険制度との統合に伴って財政基盤が厳しい状況

にあること等の諸課題を列記しています。

さらに、あらゆる取り組みの原点は「人」にあることを見据え緊張感をもって取り組むことであると述べ、それが利用者へのサービス向上や充実に、また家族との信頼関係の確立につながると確信すると結んでいます。

いま理事長を務める私は、関係各位のご指導やご支援をいただきながら何とか努力はしているつもりなのですが、もとより力不足であるためになかなかその成果を実感出来るどころまでには至っていません。

ともに笑顔で

今食堂では、先に昼食を済ませた生活介護の利用者が自室に戻り、作業後の手洗いやうがいや済ませた就労支援の利用者と職員が、所定の座席で昼食中です。黙々と箸をすすめる人、担当職員や気の合う仲間と楽しく談笑しながら食事する人、いつも周囲の人に麦茶を注いでくれる人、咽込んでしまった人にさりげなくティッシュを手渡す人、隣席の人に「ゆつくりでいいから、ちゃんと食べるんだよ」と語りかける人など、様々な光景が見られます。このように和やかな空気の中で、主役である利用者の皆さんが日々心地よく過ごすことができるよう、これからも職員一同で努めていきたいと思えます。

そして利用者の方々の健やかで心豊かな生活を支援するための基盤となるものは、「夢の森」という船に乗り合わせた家族の皆様と我々職員が、ともに心を通わせ力を合わせていくこと以外にはありません。

結びに、今日まで「夢の森」を力強く支えてくださっている県市関係の方々、福祉関係機関、福祉施設関係者の皆様、地域の方々に改めて感謝を申し上げます。これからもさらなるご理解とご支援を心よりお願いするものです。



夢の森福祉社会事業紹介

夢の森(就労移行支援・就労継続支援B型)

就労移行支援 定員・十名 ・ 就労継続支援B型 定員・十五名

五年経って、思う事



利用者家族
細内和子様

息子は、以前横浜の施設で、パンの製造・販売をしておりました。越して来て、夢の森にお世話になって、五年がたちました。

通所にあたり、事前の見学や実習をさせていただきました。木工では、もくもくと紙ヤスリをかける姿に、(できるのだ)驚かされました。外には、畑があり、かつて高等部で、ラディッシュ・ルッコラ・にんじんなどを作っていたことがあったので、夢の森に決めました。

畑での天地返し、マルチかけ、肥料やり、苗植え、除草、人のきらいな虫取りをし、じゃが芋、里芋、きゅうり、トマト、キャベツ、大根などを収穫しました。
これらの野菜が、商品として、並べられるようになると思います。(何に時間をかけ、何にお金をかけるのか。)

当初は、毎日元気に怪我せず通えれば良いと思いましたが、除草や掃き掃除は、嫌いじゃないので、今は、それが仕事につながらばと思うようになりました。一つでも多くの事ができるようにと願う日々です。
そのための協力はしたいと思います。
御支援よろしくお願いたします。

新体制になって



夢の森
就労副主任
福田智彦

この度、平成三十年四月から就労支援部副主任になりました、福田智彦と申します。就労支援部の副主任という責任のある立場を任せ、気の引き締まる思いで支援に取り組んでおります。

夢の森福祉会では昨年度からの準備期間を経て、平成三十年五月七日から新体制へ移行しました。利用者様の戸惑いも大きかったと存じますが、ご家族様のご理解とご協力を賜り心よりお礼申し上げます。

新体制となり就労支援部長年の課題でもあった、工賃アップ、作業環境の整備を職員一丸となり取り組んでおります。利用者様がより作業しやすい環境を提供し、工賃アップを基に生活の質の向上を目指しております。そして安心して通える、職員共々笑顔の絶えない施設を目指し日々支援に努めています。
最後となりましたが、利用者様、ご家族様、関係各位の皆様方、今後ともご指導ご鞭撻賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



就労、全員集合!



明治の館箱折り



明治の館シール貼り



缶選別



缶潰し



農園芸



ハードディスク解体



文挾駅清掃



西の杜霊苑清掃



玉ねぎ畑収穫作業



個人宅除草作業

夢の森福祉会事業紹介

夢の森(生活介護)

生活介護 定員…三十五名

夢の森とのつながり



利用者家族
池田美津子様

「行って来ます」と元気な声、「ただいまー、今日はね」そんな毎日。人との出会いやら今までに無かった発見やら私に報告。

いっぞや本人から「笑顔っていいね」。どうしてと聞くと、顔をゆるめてニヤニヤ。

又夢の森に行き始めてすぐ、「お姉さん私ね、夢の森の人達の名前が覚えられないんだ！どうしよう。」最初の難問題。頭の中が混乱している様だ。けれど一日だって今日は行きたくない。今日は休む。と言われた覚えが無い。こんな毎日のやり取りで早三年が過ぎました。これもみな夢の森の職員の皆様の深い愛情と、思いやりのたまものです。

私のもとより、利用者家族にとって大きな心の支えとなっているのです。

初めて集会に出席した時、一人ひとりの状態を事細かに把握し、愛情を持って接してくれている事に深く感銘をいたしました。どうぞこれからも笑顔が続きます様に。

本当に夢の森さんに出会えて良かった。

今、思う事



夢の森
生活介護副主任/サービス管理責任者
山本 勉

今年度、「夢の森」は、新しいスタートをきりました。その中で生活介護部は、日常生活の必要な支援や、創作、生産活動の機会の提供を通し、生活能力の向上、身体機能の維持向上を図ること、そして、心豊かな生活を共に創り、それを継続する事を目指していきたいと考えています。

日々の支援においては、利用者様の個々に合った支援を共に考え、提供するだけではなく、利用者様の意思決定を待つという事を心掛けていきたいと思っています。

心豊かな生活といっても、その内容は様々です。その違いを尊重し、住み慣れた地域の中で実現していくサポートを行っていききたいと思っています。

「夢の森」基本理念である「共に生きて輝くこと」を常に心にとめて、自己研鑽を忘れず、またチームとしての力も高めて利用者様の「夢の森」での生活が未来につながる日々の積み重ねとなっていける様に業務に向き合っていきたいと思っています。



音楽活動をしています♪



さをり織りしています。



元気に朝の体操！



カーテンをつけ、ホールを使いやすくしました。



夢の森福祉会事業紹介

夢っ子(放課後等デイサービス)

夢っ子からの未来

新年度を迎えて

放課後等デイサービス 定員…十名



利用者家族
生沼香織様

高一の娘が、夢っ子にお世話になり十年になります。娘が夢っ子に通い始めた時の事を、今じつくりと考えています。

娘には持病の発作がある為、この子を見守ってくれる場所を日々探していた事を思い出します。発作が起きた際の対応等、不安や心配な気持ちがありましたが、何の迷いもなく夢っ子にお世話になりたいと思ってお願いをし、現在に至ります。誰一人欠かす事の出来ない優しく思いやりのある職員さん達に囲まれて、毎日楽しく元気に遊んで帰ってきます。

発作時も、職員の皆様は元より同じく夢っ子に通うお友達皆が娘の事を気遣い「静かにしてあげよう」と、慌てる事なく温かい心で娘を見守ってくれています。

夢っ子に行きたがって仕方ない娘の気持ちが分かりますし、私自身も皆さんが大好きです。夢っ子に通い始めて十年、娘よりも小さいお友達が一緒に行動しています。

今娘は、夢っ子で育まれた人を思いやる気持ち、優しさを十分に発揮し想像出来なかつた程成長してくれました。

職員の皆様、お友達には感謝しても有り余る気持ちです。

親子共々、心の拠り所である夢っ子がこれからもずっと笑顔いっぱい溢れていられる様、保護者の私も何かお役に立てれば幸いです。



夢っ子
放課後等デイサービス
副主任/児童発達支援管理責任者
熊倉礼子

本年度より、夢っ子副主任、児童発達支援管理責任者になりました熊倉と申します。

四月一日より新年度の夢っ子が始まりました。子どもたちも、新学年がスタートし、多くの期待や不安を抱きながらも毎日元気に通所してくれています。夢っ子では、PC動画、テレビゲームはもちろん、体を動かす遊びとしてジャンブルジム、トランポリン、ブランコ、自転車等を活用しています。そして、子どもたちが日々楽しく遊びの中から学ぶことが出来るような環境を用意し、SST(ソーシャルスキルトレーニング)も取り入れて、様々な活動を行っております。

今年度も保護者の皆様、学校関係者の皆様、地域の皆様のご理解とご協力のもと、職員一同力を合わせ、子どもたちが夢をもって成長できるよう支援していきたいと思えます。宜しくお願い致します。



校外学習(大笹牧場)



コンビニまでお散歩。おやつ目的。

夏休み



おやつタイム(大笹牧場)



おやつ作り(ホットケーキ)



クリスマス会

冬休み



お絵描きに夢中



クリスマスプレゼントありがとうございます。

春休み



スパイダーマンとお散歩中?



お昼なににしようかなあ。

夢の森福祉社会事業紹介

夢ホーム

第一夢ホーム定員…共同生活援助…七名 短期入所…三名
 第二夢ホーム定員…共同生活援助…五名 短期入所…三名
夢ホームでの生活
生活を共にして



利用者家族
酒井弘美様



夢ホーム主任/サービス管理責任者
佐藤裕



私の妹が夢ホームにお世話になり、この四月で五年目になりました。妹は両親と暮らしていましたが、八年前に母、四年前に父が亡くなり、実家で一人になってしまいました。役所の担当の方と相談し、何件かの施設を紹介してもらい、妹と見学に行きました。その中にこちらの夢ホームがあり一番気に入りました。なにより妹が気に入る、職員の方々の対応がものすごく良くお世話になることにしました。

昨年十月より夢ホームの担当になり、利用者ご家族の皆様、そして関係職員の協力を得ながら、東奔西走する毎日です。この度の職員的大幅な入れ替わりは、利用者の皆様にとって「激動」ではなかったかと感じています。そうした状況のなか、利用者の皆様は徐々に落ち着いてきて、他者を知り自己を見つめ直し、自分の気持ちを少しずつ出せるようになってきました。

私たち職員の日々配慮すべき点は、利用者様の体調管理に尽きると思っています。体調は、食事、睡眠、天候、対人関係、ストレス等様々な要素が絡み合っており、私達はそれを見逃すことなく注意深く見守り支援していくことが大切だと考えています。そこで私たちは、そのために必要な知識を学ぶとともに、関係者や関係機関とのネットワークを組織し、連携を強化するなど、体調の変化に適切に対応できるよう努めています。

さらに利用者の皆様同士の共同生活や地域の方々との交流をとおして、利用者の皆様と職員が共に学び、成長できる場にしていくことにより、夢ホーム利用者が増えることを願っています。



雪かき後のお茶会です。



食後の食器拭きを行っています。



消火訓練をしました。



これからみなでお散歩です。



丸山公園での花見です。



クリスマス会。ハンドベルの演奏会



お昼に手作り餃子パーティーです。

指定特定相談支援センター ドリーム

- ・指定特定相談支援事業
- ・指定障害児相談支援事業



日光市地域生活支援事業

- ・日中一時支援
- ・移動支援



平成29年度 事業実績／決算報告

「人と人と 心豊かに 共に生きてあることを 共に生きて輝くことを」を基本理念とし、今年度は事業推進に当たり、組織全体の基盤強化を優先課題として掲げ、事業を支えるための職員の確保と職員の配置転換（適材適所）を行い、継続的かつ安定的に質の良い福祉サービスを提供することに努めた。さらに、補助金を活用し、人材育成等職員体制の構築及び職員処遇の改善を行なった。

地域における公益的な取組では、施設の開放等は進まなかったが、地域の方の参加や協力を得てお祭り（夢フェスタ）を開催することができた。

●理事会開催状況

第1回	平成29年 5月26日（金）
第2回	平成29年 6月16日（金）
第3回	平成29年 7月17日（月）
第4回	平成29年 7月22日（土）
第5回	平成29年11月 9日（木）
第6回	平成30年 1月27日（土）
第7回	平成30年 3月24日（土）

●法人役員（平成30年7月1日現在）

【理事】 6名	【評議員】 7名	【監事】 2名
小林 幸正	柿崎 龍夫	栗田 春幸
峯山 敏正	秋澤 芳美	小島 幸容
鷹 薨 平一郎	東野 孝志	
柳田 喜恵子	塩谷 つる代	
星野 保治	高橋 完司	
山口 美知子	杉田 育男	
	津久井 秀一	（順不同、敬称略）

●評議員会開催状況

第1回	平成29年 6月16日（金）
第2回	平成29年 7月22日（土）
第3回	平成29年11月 9日（木）
第4回	平成30年 1月27日（土）



●平成29年度 決算財務諸表（法人全体）（単位/円）

◆財産目録

流動資産	204,815,979
基本財産	230,408,857
その他の固定資産	62,107,960
資産合計	497,332,796
流動負債	18,953,156
固定負債	30,550,129
負債合計	49,503,285
差引純資産	447,829,511

◆貸借対照表

流動資産	204,815,979
固定資産	292,516,817
資産の部合計	497,332,796
流動負債	18,953,156
固定負債	30,550,129
負債の部合計	49,503,285
基本金	84,058,750
国庫補助金等特別積立金	108,936,550
その他の積立金	360,557
次期繰越活動収支差額	254,473,654
純資産の部合計	447,829,511
負債及び純資産の合計	497,332,796

◆資金収支計算書

収 入	就労支援事業収入	2,841,171
	障害福祉サービス等事業収入	166,027,355
	経常経費寄附金収入	2,000
	受取利息配当金収入	3,020
	その他の収入	1,753,068
	事業活動収入計	170,626,614
支 出	人件費支出	113,662,872
	事業費支出	19,404,695
	事務費支出	14,749,075
	就労支援事業支出	4,208,294
	支払利息支出	556,308
	その他の支出	1,590,436
事業活動支出計	154,171,680	
事業活動資金収支差額		16,454,934
収 入	施設整備等補助金収入	567,000
	施設整備等寄附金収入	352,000
	固定資産売却収入	500,000
	施設整備等収入計	1,419,000
支 出	設備資金借入金元金償還支出	5,059,552
	固定資産取得支出	3,434,900
	その他の施設整備等による支出	558,837
	施設整備等支出	9,053,289
施設整備等資金収支差額		▲ 7,634,289
収 入	積立資産取崩収入	489,801
	その他の活動による収入計	489,801
支 出	積立資産支出	1,181,994
	その他の活動支出計	1,181,994
その他の活動資金収支差額		▲ 692,193
当期資金収支差額合計		8,128,452
前期末支払資金残高		183,292,939
当期末支払資金残高		191,421,391

◆事業活動計算書

収 益	就労支援事業収益	2,841,171
	障害福祉サービス等事業収益	166,027,355
	経常経費寄附金収益	2,000
	サービス活動収益計	168,870,526
費 用	人件費	114,334,744
	事業費	19,317,024
	事務費	14,749,075
	就労支援事業費用	4,208,294
	減価償却費	14,236,223
	国庫補助金等特別積立金取崩額	▲ 5,987,043
サービス活動費用計	160,858,317	
サービス活動増減差額		8,012,209
収 益	受取利息配当金収益	3,020
	その他のサービス活動収益	1,753,068
	サービス活動外収益計	1,756,088
費 用	支払利息	556,308
	その他のサービス活動外費用	1,590,436
	サービス活動外費用計	2,146,744
サービス活動外増減差額		▲ 390,656
経常増減差額		7,621,553
収 益	施設整備等補助金収益	567,000
	施設整備等寄附金収益	352,000
	固定資産売却益	499,999
	特別収益計	1,418,999
費 用	国庫補助金等特別積立金積立額	567,000
	特別費用計	567,000
特別増減差額		851,999
当期活動増減差額		8,473,552
前期繰越活動増減差額		246,020,423
当期末繰越活動増減差額		254,493,975
基本金取崩額		0
その他の積立金取崩額		160,767
その他の積立金積立額		181,088
次期繰越活動増減差額		254,473,654



◆講師紹介◆

陶芸講師

五味淵 一彦 先生

平成28年8月より、毎月3回、金曜日（月曜日の時もあります）、午前8時30分から午後4時30分まで来ていただいております。

毎週火～木曜日は、栃木県立特別支援学校宇都宮青葉高等学園にて、生徒さんに陶芸を教えているらしいです。



音楽講師

大嶋 芳美 先生

今年4月4日より、毎月第1週と第3週の水曜日、午前10時から11時まで来ていただいております。

毎年「夢フェスタ」にて、会場の皆さんを笑顔にするエレクトーン演奏でお馴染みです。



さをり織り講師

赤羽 洋子 先生

今年5月10日より、毎週木曜日、午前10時から午後3時まで来ていただいております。

児童と成人の障がい福祉に50年以上従事されています。

（その内の数年間、私は同じ事業所におりまして、私の上司でした：N氏談）



◆お知らせ◆

夢の森の製品はこちらでも購入できます！

- ・日光市大谷川公園内 直売所（日光市瀬川）
- ・とちぎ福祉プラザ内 販売所（宇都宮市若草）



牛乳パックイスや陶芸品を販売しております

夢の森・夢っ子・夢ホーム利用者様 大募集！

★生活介護、就労支援、放課後等デイ、グループホームのご利用を検討されている方、ぜひ一度、遊びにいらしてください。

随時、電話受付しております！

★夢ホームの世話人、生活支援員も募集しております！アットホームで温かな雰囲気です！

（勤務地：日光市森友）

夢フェスタ2018開催！
平成30年10月28日（日）10時～

今年の夢フェスタは、夢の森福祉会後援会と利用者家族の会の協力でリニューアルします！夢の森の活動紹介や、福祉体験コーナーなども準備する予定です。利用者様や地域の方々との交流ができますので、ぜひ遊びに来てください！



ボランティア募集！

夢の森福祉会でボランティアをしてくださる方を募集しております。

- ・畑作業が得意な方（夢の森）
- ・長期休暇時等の児童支援に興味のある方（夢っ子）
- ・夢フェスタやレクリエーション大会のお手伝い（夢の森）



後援会会員募集

皆様の会費で施設を利用している方々の活動補助をしています。ありがとうございます！

- ・外出補助（夢の森、夢ホーム、夢っ子）
- ・夢フェスタ、地域ふれあい祭り補助 等



広告掲載、はじめます。

来年度の「会報ゆめ」に掲載する広告を募集しています。施設PRや企業PRなど幅広くご利用ください！費用応相談。

このページのお問合せは、当法人までお願いします。

〒321-2341 栃木県日光市大沢町274番地

（社福）夢の森福祉会

☎：0288(32)2280

FAX：0288(32)2281

E-mail：yumenomori1@ap.wakwak.com

編集後記

今年度の会報「ゆめ」は、いかかでしたでしょうか？新体制となり、活動内容や各部の主任・副主任紹介、さらにご家族からの貴重なコメントを頂くことができました。ご協力頂きました皆様ありがとうございました。

まだまだ、暑い日が続いておりますのでくれぐれもご自愛下さい。今後ともどうぞ宜しくお願い致します。（編集委員）